

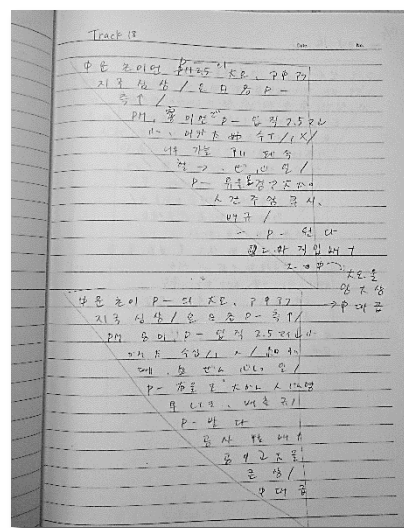
# 2018 年度韓国・祥明大学校 交換留学報告書 後期

総合管理学部 福島莉沙子

## ・授業

後期の授業は外国人留学生のための授業を1つ、日本語学科の授業を3つ取りました。その中でも韓国語の実力が特に上がったと感じた授業は「通訳日本語演習」という授業でした。この授業では韓国語と日本語の逐次通訳と同時通訳の練習をしました。通訳をする際に聞きながらメモをとる「ノートテイキング」のトレーニングも多くしました。最初は上手くメモができなかったり、単語が思い浮かんでこなかったりしましたが、練習していくうちに慣れてきました。

「東アジアと日本」という授業も取りました。ここでは日本と韓国の詩を読んで比較したりしました。初めの方は難しい単語があったり、表現が分からなかったりしましたが先生が丁寧に面白く説明していただいたのでその詩に対する理解度が深まったと思います。



↑ノートテイキング

## ・イベント

後期が始まってすぐに県立大学から文化探訪団が来ました。日本語学科の学生たちは、1週間のあいだで県立大の学生とたくさん交流を深められてよかったと話していました。私も久しぶりに会う後輩たちといろいろ話すことができ良かったです。

9月の後半には学園祭がありました。学科ごとにお店を出して、普段会わない学生たちも集まり、そのお店の前で先生方を含めてお酒を飲んだりしてとても盛り上がりました。また、有名なアーティストも公演にきてくれました。今回はチョンハという女性歌手と SIMON DOMINIC というヒップホップ歌手が来ました。私は普段か



↑研修団が来た際に撮った集合写真

らこの二人の音楽をよく聞いていたので間近で見ることが出来てよかったです。

11月には県立大学から教育実習団が来ました。実習団は日本語学科の授業で直接韓国の



←公演の様子



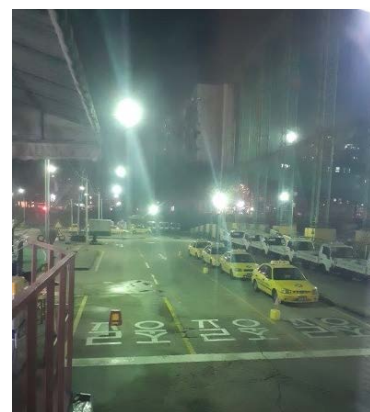
↑学園祭の様子

学生たちに日本語を教えたりしていました。また、実際に外国人に教える日本語の授業ってこんな感じなんだと知ることができました。

### ・運転免許

11月から12月にかけて私は韓国で運転免許を取りました。元々日本の免許が無かったため、韓国で取得して日本で切り替えようと思い、取りに行くことにしました。自動車学校に登録し、金額は10万円以下で約1か月通いました。日本よりは安価かつ短期間で取れましたし、教官とたくさん話すことで、韓国語の新たなコミュニケーション能力も身についたので良い経験になったのではないかと思います。

↓自動車学校



## ・冬休み

期末試験が12月下旬にあり、試験が終われば祥明大学での生活も終わりとなります。私は2月まで滞在しようと考えていたので冬休みもソウルに部屋を借りました。1月からはシンチョンというところにあるYBM語学塾に通いました。週に3回韓国語の授業を受けました。授業では韓国で生活している外国人とその国の文化や生活について話したり、韓国語の新たな表現法を学習したりしました。先生も明るくて親切な方でしたので楽しく受講することができました。



## ・韓国語学習

留学する前に私は韓国語能力試験（TOPIK）5級を取って行きました。日常生活において、大きく不便を感じることはあまりありませんでした。ただ、やはり現地でネイティブと話す则自分の実力不足を感じることはよくありました。会話力を伸ばすために、まちがってもいいのでとにかく積極的にネイティブと多く話すよう努めていました。

韓国語能力試験（TOPIK）は滞在中に6級を取得しました。その際にも「読み」「聞き取り」よりも「書き」を重点的に置いて点数アップに繋げたりする勉強をしました。

## ・まとめ

県立大学からの交換留学生として、韓国で留学生活を送ることができて本当に幸せで充実した1年間でした。また、異国の地で自分自身をどう表現するか、韓国語を使って自分の意見をどう伝えればいいのか、など試行錯誤を繰り返す毎日でした。そんな中で1年間という短い期間でしたが私自身を大きく成長させることができたのではないかと思います。

最後に、私を留学に送り出してくれた家族、県立大学の先生方、学生支援課のみなさん、そして祥明大学校の先生、学生の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



↑冬ソナで有名な南怡島（9月）



↑道路走行の試験日は大雪でした  
（12月）